



資料館 だより

2020年 4月号 No.52



目次 ①…企画展のお知らせ ②…事業報告 ③…事業予定 ④…開館カレンダー



企画展のお知らせ



発掘調査成果展

▶開催日 4月25日～5月31日
▶会場 郷土資料館特別展示室



▲ユカンボシ E1 遺跡の出土遺物

今回の発掘調査成果展は、恵庭市郷土資料館が令和元年度に実施した遺跡の試掘調査で発見された資料(縄文土器や石器など)の実物や調査の様子を写した写真などの展示を行います。恵庭市は、古来より河川によってもたらされる水資源に恵まれた場所で、市内各地では多くの遺跡が発見され、その数は現在132か所を数えます。

これらの遺跡は住宅街にも多く存在していますが、132か所の遺跡のすべての内容がわかっているわけではありません。そこで、発掘調査などを行う前に試し掘りを行って遺跡の内容を確認することがあります。また、すでにわかっている遺跡のそばで、新たに遺跡が見つかる可能性もあることから、住宅の建築工事の前に試し掘りを行って遺

跡の有無を調べたりもします。恵庭市内を流れるユカンボシ川や柏木川、茂漁川など小河川の流域にはすでに多くの遺跡が存在することが分かっており、これらの川の近くを試し掘りすると新たに遺跡が見つかることがあります。

試掘調査は重機(バックホー)を使って掘り上げた土のなかから土器や石器などを人力で探す方法で行います。令和元年度は8か所の遺跡と遺跡以外の1か所の合計9か所の試掘調査を実施し、遺跡の内容や有無の確認を行いました。なかでも恵南にあるユカンボシE1遺跡では、縄文時代後期後葉(約3,100年前)の土器や石器などが600点以上も見つかりました。



▲試掘調査の様子

1月 ● 4日～30日…令和元年度新収蔵資料展
● 12日～13日…ガリ版印刷体験

2月 ● 8日～3月15日…ひな人形展

新収蔵資料展

▶ 1月4日～1月30日

令和元年中に新たに郷土資料館に寄贈をいただいた26件、181点の中から約60点の生活用具を中心とする資料を紹介し、およそ700人の方々が来場しました。会期中は約400人の団体見学の小学生も訪れ、郷土学習の傍ら珍しい資料を熱心に見学してま



◀火鉢

してました。

ガリ版印刷体験

▶ 1月12、13日



昭和40年代まで多くの人が使用した^{とうしゃぼん}謄写版印刷(通称ガリ版印刷)を体験しました。

これは^{ろう}蝋をしみ込ませた原紙に専用の「鉄筆」という筆記具を使って絵や文字を描き、その原紙を専用器具にセットしてインクを刷り込むと紙に印刷される

という仕組みの印刷機です。

2日間で小中学生8人を含む20人の参加者が来館し、絵や文章を描いて体験しました。子どもの頃、学校の先生が使っているのを見ていたという市民の方は、「実際にやってみると鉄筆で描く強さ加減が難しかった。手書きの文字や絵の印刷物は味があってすごく良い。」と絶賛していました。合わせて、郷土資料館で収蔵している謄写版を展示し、出来上がった作品とともに来館者の方にも見ていただきました。

昔の人の道具調べ学習



毎年2月、小学校3年生が昔の人の道具調べ学習のため、郷土資料館を訪れます。今年は、12～2月までの3か月間に市内8小学校の3年生約600人が来館しました。

内容は、まず常設展示室の明治・大正・昭和コーナーの説明を聞き、気が付いたことや印象に残った資料のスケッチ、使い方などを記録します。一方、研修室では体験学習コーナーを設置し、石うすで大豆を^ひ挽いたり、竿ばかり、天秤棒を使ったり、蓑、わらぐつ、^{かくまき}角巻を身につけたりして実際に実物資料に触れてもらいました。

すでに使用されなくなっ

ら数十年が経過しているものばかりですが、お話を聞きながら実際に使われていたものにさわったり、動かしたりすることによって、より昔の恵庭に対するイメージがふくらみ、関心が深められたようでした。



事業予定



4月 ●25日～5月31日…発掘調査成果展

5月 ●2日～6日…むかしの道具体験コーナー ●30日…カリンバ土曜講座 第1回

6月 ●カリンバ土曜講座 第2回 ●ティマル写真展

カリンバ土曜講座

今年で8年目を迎えるカリンバ土曜講座は、昨年に続き「道央の発掘調査」を共通テーマとして3回開催する予定です。1回目は当館の学芸員が全国でも石狩低地帯南部の恵庭(島松沢8遺跡)、千歳(丸子山遺跡)、苫小牧(史跡静川遺跡)の3か所で見つかり、発表されていない縄文時代の環壕について発表します。2回目以降の日程は決まり次第、市のホームページなどに掲載します。ぜひご参加下さい。



島松沢8遺跡の環壕

第1回 ▶ 5月30日(土)

講師：恵庭市郷土資料館
学芸員 鈴木 将太

内容：「(仮)縄文時代の環壕について」

第2回 ▶ 6月の土曜日を予定

講師：千歳市埋蔵文化財センター 主事 和田 由希絵氏
内容：「(仮)千歳の遺跡について」

第3回 ▶ 7月の土曜日を予定

講師：(公財)北海道埋蔵文化財センター 主査 藤井 浩氏
内容：「(仮)北広島の遺跡について」



●時間 各回とも10時00分から11時30分

●会場 恵庭市郷土資料館 1階 研修室

●定員 各回とも先着40席(申込み不要、無料)

アイヌ政策推進交付金事業

令和元年5月に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」の規定に基づき、国は9月に「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針」を定めました。これを受けて恵庭市は「恵庭市アイヌ施策推進地域計画」を策定し、令和2年度から4年度まで郷土資料館が「アイヌ政策推進交付金事業」を実施することとなりました。令和2年度

は『アイヌ文化マスター育成事業』を行う予定ですが、その概要

は以下のとおりです。多くの方のご参加をお待ちしております。

●アイヌ文化マスター育成事業

●令和2年7月から令和3年2月の毎月1度(日曜日)、郷土資料館や白老町にできる国立アイヌ民族博物館などでアイヌ文化を学びます。令和3年1月にはニュージーランドでマオリ族との交流を予定しています(若干の自己負担あり)。

●市内在住の中高生から公募し、対象者6名を有識者委員会が選出します。募集要項は令和2年5月ころに、市の広報やホームページなどに掲載します。



▲黄金中央で発掘された約400年前のアイヌ民族の家の跡

※正式な事業の実施は、国の交付決定が内示される4月1日以降となる予定です。

2019年度訪日グローバルキャンペーンに対応した滞在型コンテンツ造成事業

この事業は国土交通省北海道運輸局が行っているもので、所得水準が高く成熟した欧米豪諸国からの旅行者の受け入れを促進するものです。北海道全域で100のコンテンツが選ばれ、恵庭市からは「史跡カリンバ遺跡」が唯一選ばれました。また100のコンテンツから英語ガイドを育成する10のコンテンツが絞り込まれ、函館市の特別史跡五稜郭や国宝の土偶「カックウ」を有

する縄文文化交流センターと並んで「史跡カリンバ遺跡(恵庭市郷土資料館)」が選出されました。今年の1月と2月には、当館学芸員とボランティア団体会員(カリンバの会、資料館ボランティアの会)が専門家の指導を受けて英語によるカリンバ遺跡のガイドを学びました。令和2年度からは欧米豪諸国からの旅行者を受け入れる予定です。



▲史跡カリンバ遺跡
被葬者の顔部分



郷土資料館 開館カレンダー



4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 毎週月曜日が**休館日**です。
…▶ただし、月曜日が**休日**の場合、**開館日**です。その場合、振替となり火曜日、水曜日が**休館日**となります。
- **休日**は**開館日**とし、翌日が**休館日**になります。
…▶ただし、土曜日、日曜日にあたる場合は、**開館日**です。
- 毎月最終金曜日は、資料整理のため**休館日**となります。
- 年末、年始の**休館日**は、12月28日～1月3日です。

休館日の詳細



編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月5日から臨時休館となりました。ひな人形展が期間途中で終了となってしまいましたが、こちらは毎年恒例の行事ですので、ぜひ来年お越しください。(よ)

資料館だより No.52 2020年4月1日発行

発行 恵庭市郷土資料館 住所 〒061-1375 恵庭市南島松157-2 TEL/FAX 0123-37-1288

開館時間 午前9時30分～午後5時 入館料 無料